

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公開番号】特開2010-58033(P2010-58033A)

【公開日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-011

【出願番号】特願2008-225545(P2008-225545)

【国際特許分類】

B 0 1 D 46/02 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 46/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月10日(2011.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一端は開口し、他端において閉鎖する濾布の内側に装着され、濾布の筒形状を維持するため濾過装置に使用されるリテーナであって、濾布への装着状態においてリテーナと濾布との伸張特性の相違を補償するべく濾布を緊張付勢する弾性手段を備えたリテーナ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のリテーナを濾布の内側に装着した濾過装置であって、濾布は一端が開口するようにセルプレートに装着され、かつ被処理流体はその側面より導入され濾布の前記開口した一端より排出されるようにされ、濾布の内側のリテーナはその一端がセルプレートに固定されることで濾布への装着状態をとり、前記弾性手段は、濾布内部においてリテーナの他端と濾布の前記閉鎖した他端との間に配置され、リテーナと濾布との伸張特性の相違を補償するべく濾布を緊張付勢する濾過装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の発明において、前記弾性手段は濾布の前記閉鎖した他端に対向する第 1 の当接部と、リテーナの前記他端に対向する第 2 の当接部と、第 1 及び第 2 の当接部間の圧縮スプリングとから成る濾過装置。

【請求項 4】

請求項 1 の発明において、前記弾性手段は濾布の前記閉鎖した他端に対向する第 1 の当接部と、リテーナの前記他端に対する第 2 の当接部と、第 1 及び第 2 の当接部間の圧縮スプリングとからなり、圧縮スプリングの一端は第 1 の当接部に当接され、圧縮スプリングの一端は第 2 の当接部に当接されるリテーナ。